

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-201199

⑮ Int. Cl.⁴ 識別記号 庁内整理番号 ⑬ 公開 昭和63年(1988)8月19日
C 07 K 7/20 8318-4H
A 61 K 37/24 AFB 8615-4C
C 07 K 1/06
// C 07 K 99:54 審査請求 未請求 請求項の数 26 (全32頁)

⑭ 発明の名称 LHRH拮抗体として有用なLHRHのノナペプチドおよびデカペプチド類似体

⑰ 特 願 昭63-26418

⑱ 出 願 昭63(1988)2月4日

優先権主張 ⑲ 1987年2月5日 ⑳ 米国(US) ㉑ 010,923

⑲ 発 明 者 ジョン・ジェイ・ネス アメリカ合衆国カリフォルニア 95133、サン・ノゼ、カ
ター、ジュニア ーク・グレン・ドライブ 677番
⑲ 発 明 者 ブライアン・エイチ・ アメリカ合衆国カリフォルニア 95070、サラトガ、キヤ
グイツカリー ロル・レーン 20279番
⑲ 出 願 人 シンテックス(ユー・ アメリカ合衆国カリフォルニア 94304、バーロ・アル
エス・エイ)インコー ト、ヒルビユー・アベニュー 3401番
ボレイテッド
⑲ 代 理 人 弁理士 青山 葆 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

LHRH拮抗体として有用なLHRHのノナペプチド
およびデカペプチド類似体

2. 特許請求の範囲

(1) 式

A-B-C-Ser-D-E-F-G-Pro-J (1)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

[式中、

Aは、N-Ac-D,L-Δ^{1,4}-プロリル、N
-Ac-D,L-プロリル、N-Ac-D,L-フェ
ニルアラニル、N-Ac-D,L-p-クロロフェ
ニルアラニル、N-Ac-D,L-p-フルオロフェ
ニルアラニル、N-Ac-3-(1-ナフチル)-
D,L-アラニル、N-Ac-3-(2-ナフチル)-
-D,L-アラニルおよびN-Ac-3-(2,4,
6-トリメチルフェニル)-D,L-アラニルのD
-またはL-異性体から成る群から選ばれたアミ
ノアシル残基、

Bは、D-フェニルアラニル、D-p-クロロ
フェニルアラニル、D-p-フルオロフェニルア
ラニル、D-p-ニトロフェニルアラニル、2,2
-ジフェニルグリシル、D-α-メチル-p-ク
ロロフェニルアラニルおよび3-(2-ナフチル)
-D-アラニルから成る群から選ばれたアミノア
シル残基、

Cは、D-トリプトファン、D-フェニルア
ラニル、3-(3-ビリジル)-D-アラニルおよ
び3-(2-ナフチル)-D-アラニルから成る群
から選ばれたアミノアシル残基、

Dは、L-フェニルアラニル、L-チロシルお
よび3-(3-ビリジル)-アラニルから成る群か
ら選ばれたアミノアシル残基、アルギニルまたは
G、

Eは、3-(2-ナフチル)-D-アラニル、3
-(3-ビリジル)-D-アラニル、D-チロシル、
D-トリプトファン、D-ニコチニル-リジル、
ビリジルアセチル-リジル、D-Glu(AA)また
はG、